

総務委員会議事録

1. 日 時 令和3年7月2日（金） 10時～11時40分

2. 場 所 春日井商工会議所 1階 大会議室

3. 出席者数	委員長	1名
	委員	11名
	アドバイザー	1名
	オブザーバー	1名
	事務局	7名
	合 計	21名

4. 議 題

1. 令和3年度行政庁等に対する意見要望について
2. その他（春日井商工会議所就業規則改正・委員会活動報告・情報提供）

5. 議 事

課 長 伊藤 伊月

定刻に至り、開会を宣し野村委員長に挨拶を求める。

委 員 長 野村 浩司

挨拶を述べる。

課 長 伊藤 伊月

委員会規程により、議長に野村委員長を指名し、議長就任を要請する。

（委員長 議長に就任）

議 長 野村 浩司

議事に入り、議題1. 令和3年度行政庁等に対する意見要望について事務局に説明を求める。

課長補佐 服部 佳江

資料に基づき、委員会・部会・会員より意見徴収をおこない、今年度新規・拡充部分を重点に説明。

議 長 野村 浩司

議題1. について、質問・意見を受ける前に春日井市より足立産業部長より、春日井市への要望について意見を求める。

オブザーバー 足立 憲昭

項目毎に説明。

1.新型コロナウイルス感染拡大防止対策費用への助成制度創設

6月に会議所と飲食店等を巡回し、パーテーションを設置していないところが半数近くあったため、前向きに検討。

2.奨学金等返済支援補助金の対象者の拡充

今年始まった制度であり、実績もないため次年度以降検討。

3.小規模事業者ホームページ作成支援事業助成金拡充

財政部にも産業部として要請中。

4.循環型社会形成推進事業に対する支援

業種的に限定されるが、県の方 1/2 と併せ市 1/3 が負担した場合 6/5 負担となり難しいのではないかと考えている。

5.LED 照明等節電設備助成金の創設

以前 20% で実施していたが、製造業も多い事から検討していきたい。

6.新分野進出等事業助成金の条件緩和

総務省の間接補助金で、総務省のルールに基づき春日井市が払った分が補填される仕組みであり、現状では難しく、違う形であれば可能かもしれない。

7.生産性向上 ICT 助成金の設備範囲の拡充

現状設備を確認するため工業会の証明等が入っており、要望の拡充範囲では証明がとれないため現状では難しいと思われる。

8.広告・宣伝等に要する補助金制度の創設

6月30日に締め切った「新製品・新規事業支援補助金」にて代替えをして実施済。

9.市契約規則第 16 条最低制限価格の見直し

担当部長へ確認しないと不明。

10.市内事業所への優先発注

産業部より年 2 回程各部署へ依頼している。

11.地域デジタル化・非接触社会構築事業への支援

かすがい GOGO 株は民間企業であり、公共性はなく難しいと思われる。

12.コロナ対策万全の「お墨店」認証制度の創設

県で「ニューあいちスタンダード認証」も始まっており、現状では必要ないと考えている。

議長 野村 浩司

議題 1. について、質問・意見を求める。

委員 今川 昇

奨学金等返済支援補助金は、前回の総務委員会にて情報を知り社内で取り組めるよう準備を進めている。先程の説明の中で、実績がないため拡充の要望は難しいとの事だが、どういう意味か。また、市内在住の社員のみ対象となるため、支給はしにくい。

オブザーバー 足立 憲昭

今年度創設された制度であり、企業が年間で支払った額を取りまとめ、年 2 回程の申請する形となり受付もこれからとなり、どれくらい見込まれるか等の金額の実績がないという意味である。採用支援の一助として考えており、全国的にも珍しくこれから運用も検討していく予定である。

副 会 頭 木野瀬 吉孝

先程回答してもらったものについては、難しいようであれば可になるような他方法を考えていきたい。奨学助成金制度は、画期的な制度ではあるが、会議所として会員企業への周知等していかなければ利用につながらないので周知をしていきたい。採用支援という事であれば、市外社員も対象とするよう次年度以降検討して欲しい。奨学金を企業が負担する事はすごい事であり、そういった企業を支援・応援をして欲しい。

委 員 峠 貴斗

助成金は、行政（市）のセンスであり素晴らしいと思う。今年度より SDGs や DX 室が出来たので、情報が得られるよう積極的に情報発信をおこなって欲しい。

オブザーバー 足立 憲昭

先程回答した中で難しいと回答したが、他の形で実現できるよう検討していきたい。

議 長 野村 浩司

続いて、議題 2. その他 春日井商工会議所 就業規則の改正について、事務局に説明を求める。

課長補佐 服部 佳江

時差出勤・時間休暇の導入し、就業規則へ追加。7 月 8 日常議員会にて提出予定である事を説明。

議 長 野村 浩司

続いて、議題 2. その他 委員会活動について各委員に報告を求める。

委 員 奥村 久子

組織拡大委員会は、第 2 回を 6/28 に開催。今年度末 4,300 件の会員数を目標とし、残り 63 件となるが、組織率では 40%程度なるため、過去の実績から 50%となるよう目標を掲げ、会議所の加入メリットの明確化し、活動をおこなっていく予定である。新規会員の紹介を依頼。

委 員 三上 努

事業継続・新事業創出委員会では、7/28 に BCP ワークショップセミナーを

開催。その他、要望事項の意見徴収等を実施した。

委員 服部 律子

雇用促進・人材育成委員会は、前回から委員会は、実施しておらず特に報告事項はない。今回の意見要望をみる中で、意見を徴収するだけでなく、実現可能な形での意見を提出できるよう、委員会内でも検討していきたい。

委員 安藤 宜史

企業間交流・産学連携委員会は、5/31に委員会を開催。昨年度、ビジネスフォーラムをオンラインにて実施したが商談数が伸びず、今年度の開催方法や、永年実施してきている中で、ビジネスフォーラムの実施について、意見等頂きたい。中部大学との協働授業はこれまで委員会メンバーにて実施してきたが、今後は他の方にもお願いしていく予定。

委員 今川 昇

生産性向上・業務効率化委員会は、製造業部会と連携し実施していく予定。春日井版がっちりマンデー（企業紹介）の実施や8/30、9/10にPRAセミナーを実施する予定。

事務局長 鈴木 夕雪

活力あるまちづくり委員会は、5/21に第1回委員会を開催し意見要望の徴収等を実施。委員会のテーマとして、シティープロモーション・デジタル化となるが範囲も広く、今後は観光コンベンション協会と連携し春日井の魅力づくりに取り組んでいく他、青年部提言書の実現に向け活動していく予定。

議長 野村 浩司

以上で議案を終了し、アドバイザーへ意見を求める。

アドバイザー 大嶽 成功

環境により大きく変わってきており、コロナ禍の中でSDGs・DXの推進等行われているが、令和2年度出生数は84万人と減少。人口減少により今後大学もどのように学生を確保するのか等、環境にあわせた形で考えていかなければならない。企業側も労働人口の減少につながると思われるため、今後も情報交換等色々と検討していきたい。

議長 野村 浩司

その他資料について、事務局へ説明を求める。

課長補佐 服部 佳江

会議所として7/1よりSNS（Facebook・LINE）を開始。周知等の協力を依頼。

議 長 野村 浩司

本日の総務委員会の閉会を宣す。

課 長 伊藤 伊月

続いて、情報提供として 大和エネルギー様より「SDG s 達成に向けた取組み」として副委員長より挨拶を求める。

【情報提供】「SDG s 達成に向けた取組み」大和エネルギー 下別府氏

課 長 伊藤 伊月

副委員長より挨拶を求める。

副委員長 奥村 久子

挨拶を述べる。

時に、11時40分。